

オリジナルセレクション

標的の村

三上智恵監督 2013年／日本／91分



①3月29日(土) 10:30
②3月30日(日) 17:00

©琉球朝日放送

2012年9月29日、オスプレイ強行配備前夜。暴風雨の中、人々は普天間基地ゲート前に身を投げ出し、これを完全封鎖した。座り込む老人と強制排除に乗り込む警察の衝突。前代未聞の出来事は全国ニュースから黙殺された。豊かな自然と共に刻まれる、沖縄の「現実」に心は激しく揺さぶられる。

—2013年 山形国際ドキュメンタリー映画祭市民賞・日本映画監督協会賞
—2013年 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第1位

天のしずく 辰巳芳子「いのちのスープ」

河邑厚德監督 2012年／日本／113分



①3月29日(土) 16:50
②3月30日(日) 12:45

©2012 天のしずく製作委員会

嘔下障害で倒れ、食べる楽しみを奪われた父の最後の日々を支えたスープ。それは「いのちのスープ」と呼ばれ、人々を癒やしていった。日本の農の営みに希望を持ち、「食が人の命を養う」と唱え続けてきた料理家・辰巳芳子の半生を通して、食と生命のつながりを見つめる。

いのちを楽しむ —容子とがんの2年間—

取材・構成／松原明・佐々木有美 2013年／日本／102分



①3月28日(金) 15:00
★②3月30日(日) 12:40

©ビデオプレス

40歳で乳がんを発症した渡辺容子さんは、手術や抗がん剤治療をせず、緩和医療に徹した。『患者よ、がんと闘うな』の著者・近藤誠医師を主治医に、自然に自由に、仲間とともに自分らしく生きる彼女の「最期の2年間」にカメラは寄り添った。がんのイメージ、死への考え方が変わる作品。

アイ・ウェイウェイは謝らない

アリソン・クレイマン監督 2012年／アメリカ／91分



①3月29日(土) 12:40
②3月30日(日) 10:30

©2012 Never Sorry, LLC. All Rights Reserved

東京・森美術館をはじめ、世界中から展示を熱望される中国現代芸術家アイ・ウェイウェイ。北京五輪(鳥の巣スタジアム)設計者でもある彼が中国当局に拘束された。なぜか? 破天荒なアーティストの身に起こった“出来事”を目撃する、ライブ感満載のドキュメンタリー。

—2012年 サンダンス映画祭審査員特別賞
—2012年 ベルリン映画祭正式出品作品

今回で3回目、歩いて行ける、わが町の映画祭です。遠い国の話、一見無縁にも見える事柄を身近な問題として掘り起こす3日間。ご来場をお待ちしております。

特集1

我々は何を捨ててきたのか—世界をゴミから考える

もったいない!

バレンティン・トゥルン監督 2011年／ドイツ／88分



①3月29日(土) 14:50
②3月30日(日) 18:50

©SCHNITTSTELLE Film Köln ,THURN FILM

食べ物の半分は食卓に乗らずに捨てられている? 食品ロスの原因は何か? 日本をはじめ世界各国で食料が辿るあらゆる段階に関わる人の話を聞きながら、驚愕の食料廃棄事情を目撃するとともに、私たちに何ができるのかを探る。人類最大の課題に迫るドイツ発ドキュメンタリー。

—2011年 アトランティス環境自然映画祭最優秀映画賞
—2011年 EKOFILMドキュメンタリー映画賞

TRASHED —ゴミ地球の代償—

キャンディダ・ブラディ監督 2012年／イギリス／97分



★①3月29日(土) 12:30
②3月30日(日) 15:00

©Blenheim Films 2012

レバノンの海岸線にそびえるゴミの山。家庭ゴミ、有害産業廃棄物、注射針、動物の死骸が、美しい海へと垂れ流され、汚染を広げている。大量に消費し、大量にゴミを出し、その後はどうなるかを考えもしない。オスカー俳優ジェレミー・アイアンズがあまりに深刻なゴミ処理の課題を世界へ訴える。

—2012年 カンヌ国際映画祭特別上映作品
—2012年 東京国際映画祭TOYOTA Earth Grand Prix審査員特別賞

特集2

スクリーンを震わす原始のリズム—音楽映画の共演

ベンダ・ビリリ! ~もう一つのキンシャサの奇跡

ルノー・バレ&フロラン・ドラテュライ監督 2010年／フランス／87分



①3月28日(金) 17:10
②3月30日(日) 18:50

©SCREEN RUNNER

コンゴの首都キンシャサの路上で活動する「ベンダ・ビリリ」。障がいを持ち動物園で眠る彼らは、ガラタのような楽器で独特の民族のリズムを奏でる。その音楽は底抜けに明るくパワフルだ。困難を越え、欧州ツアーを実現するまでの成功を追う。「ベンダ・ビリリ」は「外側を剥ぎ取れ=内面を見よ」の意。

—2010年 カンヌ国際映画祭(監督週間) オープニング作品

フラッシュバックメモリーズ(2D)

松江哲明監督 2012年／日本／72分



①3月28日(金) 19:00
★②3月30日(日) 17:00

©2012 SPACE SHOWER NETWORKS,INC

追突事故による高次脳機能障害で記憶が消えてしまうディジュリドゥ奏者GOMAの復活を描く。過去の記録映像でGOMAの人生をなぞった後、事故当日の日記からサスペンスの様相も呈し、怒涛のライブ映像と共に新しい映像世界を描く革命的意欲作。

—2012年 東京国際映画祭観客賞
—2013年 全州国際映画祭NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)
※受賞はいずれも3D版

浦安関連企画(無料) ● 3月29日(土) 10:30

本に埋もれる—「図書館のまち浦安」

「読みたい、知りたいという希望に対し、それがどんな小さなものであっても、謙虚に受け止める」という理念を掲げ、蔵書数、市民の利用実績ともに全国トップクラスの浦安図書館。図書館関係者によるトークと、映像を上映。

シンポジウム(無料) ● 3月30日(日) 15:15

埋もれたテーマを掘り起こせ!

ドキュメンタリー作家はどのようにテーマを探すのか。何を基準に撮ることを決めるのか。撮影を断念せざるを得なかったテーマはあるか——。監督をはじめドキュメンタリー映画制作者をゲストに招いて行なう公開トーク。

★の回はゲスト来場予定(上映終了後にトークイベントを開催)

11作品を一挙上映!
まだ観ぬ映画に埋もれてみる3日間。
めまぐるしく、次から次へ、新しい情報が流れては過ぎていく。

特集3

それでも彼らはやってない—冤罪映画の今

SAYAMA みえない手錠をはずすまで

金聖雄監督 2013年／日本／105分



★①3月28日(金) 18:30
②3月29日(土) 14:50

©映画「SAYAMA」製作委員会

1963年5月、埼玉県狭山市で女子高生が誘拐され、遺体となって発見された。犯人に接触しながら取り逃がした警察は、証拠もないまま石川一雄さん(当時24歳)を別件逮捕。それから50年、石川さんは無実を訴え続けている。殺人犯のレッテルを背負いながら、泣き、笑い、怒り、日々を凍と生き抜く夫婦の物語。

—2013年 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第3位

ショージとタカオ

井出洋子監督 2010年／日本／158分



★①3月28日(金) 15:00
②3月29日(土) 17:20

©「ショージとタカオ」上映委員会

桜井昌司(当時20歳)と杉山卓男(当時21歳)は、布川事件の強盗殺人犯とされ、29年の獄中生活を余儀なくされた。仮釈放後、失われた人生の時間を取り戻すために戦う14年間に密着したドキュメンタリー。はたして彼らは“普通のおじさん”になれるのか。被疑者の人権、裁判制度への再考を迫る一作。

—2010年 キネマ旬報文化映画ベスト・テン第1位

ガレキとラジオ

梅村太郎監督 2012年／日本／70分



特別企画
3.11
もうひとつの視点から

★①3月29日(土) 19:00
★②3月30日(日) 10:30

©映画「ガレキとラジオ」製作委員会

東日本大震災から2カ月、8000名以上が避難生活を送る宮城県南三陸町にラジオ局「FMみなさん」が誕生した。マイクに向かうのはラジオ経験のない元サラリーマンやダンブ運転手たち。故郷の笑顔のためにオンエアは続き、やがて小さな奇跡が。ナレーションは役所広司。